

# 第3回 朝倉駅周辺整備計画調査検討会議 議事要旨

日 時：平成29年5月12日（金） 13：30～15：00

場 所：知多市役所3階 協議会室

出席者：名城大学都市情報学部教授 大野 栄治、  
八幡コミュニティ会長 寺島 康夫、つつじが丘コミュニティ会長 小原 秀男、  
新知コミュニティ会長 竹内 玉行、  
名古屋鉄道株式会社鉄道事業本部土木部建設課長 山縣 正明  
(代理：計画部事業推進課長 田野 健治)、  
愛知県タクシー協会知多支部長 藤田 重記、  
知多乗合株式会社取締役バス営業本部長 坂本 直也、  
知多女性たちの会 位田 美砂、知多市商工会副会長 竹内 栄道、  
知多三四会会長 藤原 康洋、愛知県知多建設事務所道路整備課長 川村 悦司、  
愛知県知多警察署交通課長 丹羽 宏充

欠席者：特定非営利活動法人起業支援ネット代表理事 久野 美奈子

事務局：参与 長谷川 勝春、都市整備部長 立川 泰造、都市計画課長 安永 明久  
都市計画課 市川 隆人、松岡 浩平、加藤 悠

---

## 1 議題

- (1)北街区の整備の方向について
- (2)南街区の整備の方向について
- (3)交通計画案について
- (4)事業化の方向について

## 2 議事要旨

### (1)会議資料について

事務局から、資料について説明

### (2)意見交換

#### ①北街区及び南街区の整備の方向について

#### 【各種団体】

・にぎわい創出という点から魅力的な商業施設が入れば有意義だと思う。知多半島初、

名古屋初、愛知県初などの点が重要と考えるため、魅力ある民間事業者の進出意欲が促されるよう、インセンティブのような施策を検討してはどうか。

- ・南街区は警察署と隣接していることから、防犯性・防災にすぐれた住居地であり、これらを南街区のアピール材料にできると思う。
- ・新聞記事を引用して意見させてもらおうと、採算性と集客数といった目先の利益だけを優先するような施設では、長続きしないと思う。
- ・散歩等お金がなくても楽しめるような空間づくりなど、市民本位の北街区づくりを実現するため、市民の意見をもっと出せるように検討してもらいたい。
- ・北街区の基本方針について、駅近に市役所と運動施設が近接する場所は少ないため、北街区の整備に伴い、スポーツ施設に連続性のある街区づくりも検討してはどうか。

### 【学識経験者】

- ・各街区に配置されたそれぞれの施設が、単独に機能するのではなく、相互的・有機的につながる工夫が必要である。
- ・南街区は、北街区・中街区とは少し離れた場所にあるが、南街区の住宅地にはどのような雰囲気を感じたらよいのか。

⇒南街区に隣接する商業施設はないが、北街区と中街区の利便性向上により、南街区の居住者の生活利便性は高まる。中心からは少し距離をおいた、便利で住み心地のよい場所を目指している。南街区を通り抜けする人は少なく、騒がしきは起きにくいとみている。(事務局)

## ②交通計画案について

### ■東西連絡道路の整備について

#### 【行政機関】

- ・朝倉駅から市役所南の交差点は、通勤ラッシュで特に朝夕に交通が集中し、事故が多発している。資料2(p18)のように、駅への動線が二通りあると、交通処理にとってよいと思う。

#### 【学識経験者】

- ・資料2(p18)のパターン②の場合、コミュニティ道路に送迎の車が大量に入ってくることになるが、コミュニティ道路としては大丈夫なのか。

⇒コミュニティ道路は現在よりも若干改良して、車の流れをよくなり、歩行者の安全性も確保できるよう努める。東西連絡道路及びコミュニティ道路の一部を整備する。(事務局)

#### 【交通事業者】

- ・資料2(p18)のパターン②は、駅利用者が、コミュニティ道路から駅前広場に進入する車の動線を横断する危険性があるため、信号を設けて、歩行者・自転車の安全確

保をする配慮が必要ではないか。また、パターン①は、東西連絡通路から来る車及びコミュニティ道路を使う車と、大田朝倉線から来る車が錯綜しない工夫も必要だと思う。

- ・駅の東側へ車が寄れる構造の、資料2(p18)のパターン②は、利便性が高いため、タクシーの降車も東側で求められることになる。整備した西側の駅前広場よりも、東側へ車が集中することで、混雑・渋滞するのではないか。

⇒コミュニティ道路は、155号方面からの新知・古見の住民が利用すると想定している。朝倉線や大田朝倉線を利用して来る車はコミュニティ道路を利用しないと想定されるため、東側への集中について、全体の交通量等をみながら再度検討したい。(事務局)

## 【各種団体】

- ・資料2(p18)のパターン②の場合、駅東側のコミュニティ道路でキス&ライドをした後、現在民間の駐車場になっている場所から右折で155号に戻れるような動線を考えるのも一つの方策である。

## 【コミュニティ】

- ・古見地区から朝倉ICへ入る車は、市役所南交差点が非常に渋滞するため、堤防道路から左折して朝倉ICへ抜けることが多い。東西連絡道路の改良により通行車両が増えると考えられるため、堤防道路と朝倉線の交差点や、堤防道路と東西連絡道路の交差点などにおける安全確保がポイントである。
- ・現在、寺本ICが出口専用のために、寺本方面から朝倉ICへ入る車や、寺本ICでおりて臨海部へ向かう車などによって、朝倉ICに交通が集中して道路混雑の一因となっている。西知多道路は事業化が進んでおり、将来的に寺本ICが両方向での出入りへ改良されれば、状況は改善されると思われる。

## ■駐車場・自転車駐車場について

### 【行政機関】

- ・活性化により集客は増えると見込まれるため、駐車場の予測台数をもう少し増やしたほうがよいのではないか。道路が狭い東側への違法駐車が増えれば、付近の住民に迷惑がかかる。

⇒自動車の駐車台数は、北街区の商業施設や市役所の中街区移転により利用者は増えるものと考えられるため、現況の台数を確保するとともに、導入施設に付置される駐車場を別途計上する考えとしている。(事務局)

## ③事業化の方向について

### ■民間活力の導入について

## 【各種団体】

- ・アイデアや意見の活発な議論が見込まれるため、民間の活力・ノウハウはぜひ活用すべき。
- ・民間の力を生かして市の税金をかけずにやっていくのはよいことである。民間活力を活用することをもっと市民にアピールしながら、計画を進めていくべき。

## 【交通事業者】

- ・北街区において、資料2（p 8、p 9）で事例としてあがっている、徳重や藤枝にあるような規模の複合商業施設の誘致は厳しいのではないかと。民間事業者の進出意欲を促進する中街区の施設配置を考えるべきだと思う。

## ④その他意見

### 【交通事業者】

- ・駅前広場の分離案におけるバス乗降場について、第2回会議で提案された6バースでバスの運行は可能だが、西知多総合病院へのシャトルバスはワゴンタイプのため、一般車両のロータリー内にシャトルバス用の乗降場を設置するのが望ましい。第2回会議で提案された障がい者等の車両乗降場スペースと、並ぶ形で配置してはどうか。
- ・あいあいバスは現在、北部南部東部の3つのコースだが、今後4つになる可能性も考えられる。コースが増えた際には乗車バースが不足するため、配慮してほしい。

### 【各種団体】

- ・今回計画している地区は埋立地とのことだが、地盤が弱いのではないかと不安に思う人もいると思う。西知多総合病院の移転の際に、当初の建設地は海浜プールの向こう側だったが、東日本大震災を受けて津波を避けたために別の場所へなつたと聞いている。この地区の地盤が大丈夫か確認したい。

⇒計画対象地区の地盤については、実際の建築の際に詳細な土質調査を行うが、近隣公共施設等の建築時のボーリングデータから、地盤面の7mから20mの深さに強固な地盤があることが分かっている。内陸部と比較し、多少深い部分であるが、建築物の支持層としては十分な厚みをもった層であり、建築には支障ないものと考えている。また、液状化については、知多警察署より北側の地区は電線類の地中化がされており、地震により倒壊した電柱等が支障となることはない。大田朝倉線についても、地下埋設物は道路の片側に寄せてあり、液状化によるマンホールの浮き上がりが通行の支障とはならないと考えているが、通行の確保が必要となる場所については、地盤改良等により対応する考えでいる。

市民病院の移転先の変更については、東日本大震災後（平成23年3月11日、M9.0）に津波の恐れがあるとのことで変更となったが、その後、愛知県が公表した津波浸水想定（平成26年11月26日公表、M9.1想定）では、計画対象地区に津波の影響はないものとされている。高潮については、台風時期の平均満潮位に、室戸台風

級の台風が、伊勢湾台風のコースをとった場合には、0.3mから1mの浸水があると想定されているが、大きな危険はないと考える。

これらのことから、この区域が特に危険な地区とは考えていない。(事務局)

## ⑤本日の意見交換のまとめ

### 【学識経験者】

本日の意見交換を総括すると、以下のとおりである。

- ・北街区及び南街区の計画案は、会議資料のとおり提案する。
- ・今後、民間事業者の進出意欲を引き出すための、インセンティブのような施策も検討することが望ましい。
- ・交通計画案のうち、道路等の整備方針では、市役所南の交差点付近の渋滞解消策として東西連絡道路を拡幅し、コミュニティ道路へ一部車両を誘導（資料2 p18、パターン②）することにより、駅東側からのアクセスを高めることについて、新たな渋滞等を懸念する意見があった。
- ・東西連絡道路の拡幅については、今後、地権者との折衝など時間がかかると思われるので、早めに対応して欲しい。
- ・駐車場、自転車駐車場の方針は、会議資料のとおり提案する。
- ・事業化の方向については、民間ノウハウによる効率的な事業展開や、市の財源に一度にかかる負担の軽減が見込まれるため、民間活力を導入する案がよい。
- ・前回意見交換した、中街区の駅前広場・バス乗降場について、西知多総合病院へのシャトルバスはワゴンタイプ車両のため、乗降場は、一般車のロータリー内のできるだけ駅舎に近い場所に設置することが望ましい。